



## — 2017年度けやき倶楽部総会 —

2017年度総会は5月21日(日)13:30より千葉大学人文社会学系統研究棟2階マルチメディア会議室にて、会員68名の参加のもと開催されました。総会に先立ち、来賓の千葉大学地域貢献専門部会長上村清雄様よりご懇篤なるご挨拶を頂戴いたしました。また、教育企画課総務係長疋田倫規様には教育企画課長菊池勇次様のご挨拶を代読していただきました。総会では議長に金子篤正会員、副議長に松岡美穂子会員を選出し、齋藤俊朗及び渡邊雄子両会計監査の監査報告に引き続き、企画担当幹事、会計担当幹事、副会長より議案の説明を行いました。出席会員の熱心な審議の後、議案は原案通り承認されました。新任幹事の紹介後、15:00に閉会し、15:30よりレストラン「コルザ」にて懇親会が開催されました。



### ◆ 開会挨拶

けやき倶楽部会長 青木 潤



本日は多数のご出席を得て総会を開催いたします。本日の総会は千葉大学からは、けやき倶楽部の顧問をお願いしております、**地域貢献専門部会長の上村先生、学務部教育企画課の菊池課長**のご出席を予定しておりました。上村先生にはご出席いただきましたが、菊池課長はご都合で欠席され、代理として疋田係長にご出席いただきました。昨年度は会長・副会長以下けやき倶楽部役員・幹事の大幅な交代がありました。これにより、今年度の活動の支障が懸念されましたが、新人の役員・幹事の必死の努力で何とか活動を維持することが出来ました。今年度は、少しでも**業務運営の改善**を図りながら、けやき倶楽部活動のレベルアップを目指すことにしています。ご協力をお願い致します。総会議案をご確認願ひよろしくご審議をお願い致します。

### ◆ 来賓ご挨拶

千葉大学地域貢献専門部会長  
上村清雄様



千葉大地域貢献専門部会の上村でございます。けやき倶楽部はHPにも謳われているように、千葉大学の卒業生主体の集まりではなく、千葉大の組織を離れた独立した会であり、大学と地域の連携という観点から今後の新しい形を明示している重要な組織と思います。

私が所属する専門部会は地域貢献の他に公開講座も担当しており、昨年度は浮世絵の祖と評される安房出身の菱川師宣の活動に注目し、やがて浮世絵が江戸で大変な人気を誇り、19世紀末にはヨーロッパに伝わり「ジャポニスム(日本趣味)」と評される文化現象をもたらしたことをテーマに11月に講演会を行いました。さらに12月には、現在の匝瑳市木積に14世紀から始まり2009年に国指定重要無形民俗文化財に指定された、穀物を選別あるいは運搬する主に竹の皮を用いた民具「箕(み)」の歴史、つくりかた、つかいかた、が木積箕づくり保存会等によって実演とともに説明がなされ、さらに本学大学院工学研究科教員によるモーションピクチャーを用いた箕を振る身体の動きの分析も実施しました。いずれの講演会も大変な人気を集めました。また一昨年好評であったことで鴨川市から望まれ、波の伊八・義光の木彫りを工学研究科の先生を中心に3D分析も含め、かたちと技法の実際の解明に関する講演会および展示会を3月に鴨川市にて実施いたしました。

このような企画の成功には熱心な参加者の存在が不可欠であることは言うまでもありません。その意味でけやき倶楽部の会員が積極的に参加されていることを、大変ありがたく思っています。これからも千葉に発し日本文化に大きな影響をあたえた文化運動などを紹介できるように務める所存です。今後もよろしくご指導とご鞭撻のほどをお願いいたします。

千葉大学学務部教育企画課長  
菊池勇次様



本日はけやき倶楽部総会開催に当たり、御挨拶申し上げます。

本会は平成7年度に設置され、20年余りに渡り学習会、研修会等を実施するなど、生涯学習の発展に取り組んでこられました。これもひとえに青木会長をはじめ、皆様方のたゆみない御努力の賜であり、御礼申し上げます。

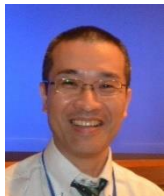
平成28年度事業においても、本学教員、学生、留学生との交流を深め、教育及び学生支援活動に御尽力いただきました。また、地域の実地見学会を行うなど、本学の地域貢献に関連する活動に多く取り組んでこられたことを感謝申し上げます。

本学においても地域貢献に係る活動を重視しており、平成25年度から実施している「地(知)の拠点整備事業(COC)」においては、「地域課題を解決する専門的人材」を育成するためのコミュニティ再生に係る全学共通教育プログラムを設け、多くの学生が地域について学んでおります。

また、平成27年度から実施している「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」においても、学生が千葉地方圏の魅力を自ら発見し、活動の成果をまとめております。当該学生の取組については、地元テレビ局においても取り上げられ、地域貢献を通じて学生の自信も深めることができました。

平成29年度においても、留学生への支援協力、本学が推進するCOC活動への参加等、本学との連携を深める取組を予定していると伺っており、御会には大きな期待をしているところです。

結びに、御会の皆様のますますの御健勝、御活躍とともに、御会の御発展を心より祈念申し上げ、挨拶といたします。



千葉大学教育企画課総務係長  
疋田倫規様

全く予想していなかったので原稿も準備しておりません。実は私は本学の卒業生で、平成6年に当時の法経学部法学科に入学し大学院まで学び、社会科学部研究科修了後本学に就職しました。就職してからは出向することが多く、この春3年ぶりに千葉大学に戻って参りました。自分が出向していたここ数年の間にも本学ではCOCやCOC+, SGUといった数々の事業を打ち出しており、今まさに激動の時代を迎えていると感じております。

こうした事業の推進にけやき倶楽部の皆様にご協力頂いていることを大変心強く感じており、またぜひ本学の魅力を多くの方に発信していただきたいと思っております。これからご協力よろしくお祈りいたします。

### ◆ 新幹事会メンバーと分掌 (◎=チーフ ○=メンバー \* =新任幹事)

新井信子副会長が退任し、植草美佳子幹事が新副会長に就任しました。幹事は3名が退任し、新たに4名が就任しました。

会員番号	氏名	三役	担当チーム(会員=会員管理)					
			企画	会計	会員	総務	広報	IT
492	青木 潤	会長	○					
611	森本 清武	副会長	◎			○		
17	植草 美佳子	副会長	○			○		
713	望月 真一			◎	○			○
815	小野 常富				◎		○	◎
374	平野 登世司		○			○		
557	豊田 昂					◎	◎	○
636	落合 侖		○	○				
807	荒木 千鶴子		○				○	
843	中澤 由美			○			○	
804	伊藤 千恵子*			○		○		
834	富原 澄枝*		○			○		
856	大内 素子*				○		○	
870	小出 陽一*				○	○		

総会は終始和やかに進行し、議案はすべて拍手をもって承認され、予定より早く終了しました。なお、総会当日、千葉大学 SEEDS 基金募金箱に 38,993 円の寄付が集まりました。

### ◆ 議案説明と質疑

- 2016 年度 事業報告(森本副会長)**  
全体活動、自主グループ活動等を報告しました。
- 2017 年度事業計画(青木会長)**  
高齢化により会員数が減少する中、けやき倶楽部活性化のためには新規会員の増員が欠かせません。今年から「大学との連携・協力」項目に会員増員を付加しました。打開策を種々講じながら千葉大学と連携して地域社会への貢献を図っていきます。
- 2016 年度決算報告&2017 年度予算(望月幹事)**  
2012 年度は通信費と印刷費は合わせて 50 万円以上だったが現在は 10 万円以下になったとの「おまけの発言」に会場はどっと沸きました。

### 質疑応答

- 今年中には会員数〇〇名まで増強という目標を決めているのかという質問に、決めていないとの回答。有効策としては会員各自が努めて友人・知人を勧誘することなどの質問者の発言に青木会長も賛意を表しました。
- 定年が 65 歳に伸びる中、けやき倶楽部への入会年齢も遅くなってきているので、新入会員の募集ターゲットをどこに絞るかを考慮する必要があるのではないかと発言に、青木会長が貴重なご意見であると謝意を表しました。
- 50 万円の通信費・印刷費を大幅にカットできたとの報告だが、どのようにしてそれを成し遂げたのかという質問に、何年か試行錯誤を試みながら努力をした結果だと望月幹事が回答しました(拍手)。



ご来賓



正副議長



議案説明



## 2016 年度全体活動（抜粋）

昨年度の全体活動を振り返ってみました。会員の皆さんはどの活動に参加されましたか？

### ◆ 第1回講演会 2016年4月21日(木)

「これからの老後と健康 — 地域包括ケアの時代」



講師  
生活クラブ風の村  
園生診療所所長  
佐賀宗彦氏

講演内容

①「長生き」になった私達 ②長寿時代の病気・寝たきり・死亡 ③メタボ・ロコモ・フレイルの呼号？ ④ピンコロでもなく、安楽死でもなく ⑤「死に場所」探しが始まった！ ⑥「地域包括ケア」という名の自存 ⑦起死回生・逆転勝利への発想転換を→けやき倶楽部があるじゃないか！

### ◆ 第1回実地見学会 2016年7月12日(水)

ヤマサ醤油工場

犬吠埼灯台



### ◆ 第2回講演会 2016年9月13日(火)

「海上の危険と船長の責務」



講師  
(社)日本船長協会顧問  
船員災害防止協会長  
森本靖之氏

講演内容

①日本海運の現状 ②海上の危険→天災(自然の猛威、荒天)人災(衝突、乗揚げ)故意(戦争、海賊) ③船長の責務 ④イラン・イラク戦争時の対応 ⑤ソマリア沖海賊への対応(自衛隊法の限界、海賊特別措置法) ⑥クルーズの楽しみ

### ◆ 第2回実地見学会 2016年10月25日(火)

横須賀市自然人文博物館

海洋研究開発機構

政治経済グループとの共催



### ◆ 第2回けやき落語会 2016年11月26日(土)

「落語とお囃子」「現代学生気質に触れたい」

出演 千葉大落語研究会

文学・芸術グループとの共催



### ◆ 第3回講演会 2017年2月20日(月)

「家族はつらいよ」

講師 弁護士 渥美雅子氏

講演内容

①法は家庭に立ち入らず(民法明治31年施行) ②扶養 ③介護 ④認知症(JR東海事件を振り返って) ⑤講談の部



### ◆ 会員発表会 2017年3月25日(土)

「いのち、からだ、こころの本質的な遊び」

<他者との出会い、  
自己との出会い>

発表

スポーツコミュニケー  
ショングループ



## 2017 年度全体活動予定（抜粋）

年数回の講演会、実地見学会、会員発表会を開催しています。今後の主な活動予定は次の通りです。奮ってご参加ください。

1. 実地見学会 6月29日(木)10:30～  
千葉大学柏の葉キャンパス(植物工場・薬草園見学)
2. 第2回講演会 7月12日(水)13:30～  
「のぼそう健康寿命」  
講師 理学療法士 関俊昭氏  
健康福祉グループとの共催
3. 第3回講演会 9月29日(金)13:30～  
「ロボット技術の現状と将来」  
講師 千葉大学工学部準教授 並木明夫氏
4. 第4回講演会 11月 環境グループとの共催  
気象庁(銚子气象台)出前講座 「気候変動、異常気象、地球温暖化など」

## 自主活動グループの紹介

新しいグループです。奮ってご参加ください！

### ◆ けやき音楽愛好会

毎月第1金曜日開催



今年6月スタート！

音楽を通じて、心的充足感を高めるとともに、会員相互の親睦を図るべく、クラシック音楽を主体にCD・DVDなどによる名曲、名演の再生演奏を鑑賞することを基本とします。鑑賞後の感想や曲の歴史的背景、感動したコンサートの思い出などを語り合うこと、その他、会員の要望に応じた音楽活動を行う事を目的としています。

### ◆ 「TIME」を読む会

毎月第2木曜日開催



2016年10月スタート！

「TIME」をメンバー全員で読み、時事英語の読解力をつけると共に、日本の報道を離れて海外の話題の取り上げ方、ものの見方を知ることでインターナショナルな知見を拓けることを目的にしています。メンバー全員が講師であり生徒であるというスタンスのもと、「みんなで楽しく学ぶ」をモットーに活動していきます。

グループ	例会日	代表	グループ	例会日	代表
歴史グループ	第3火曜日	竹田 勇吉	ライフデザイングループ	第3木曜日	平野 登世司
文学・芸術グループ	第4土曜日	山田 恂	パソコンクラブ	第3金曜日	小野 常富
哲学・宗教グループ	第3水曜日	布施 徳蔵	けやき俳句の会	第1水曜日	豊田 悦子
政治・経済グループ	第4火曜日	内本 岩宏	共育を考える会	第4木曜日	松島 敬之
健康・福祉グループ	第3日曜日	菅野 英夫	けやき歩こう会	第2月曜日	井田 洋二
国際理解グループ	原則 第4水曜日	小林 英司	囲碁会	第4金曜日	白木 康夫
スポーツコミュニケーショングループ	第2土曜日	長谷川 薫	柳田國男と語る会	第4月曜日	佐藤 信夫
			「TIME」を読む会	第2木曜日	荒 薫
環境グループ	第2金曜日	稲生 茂	けやき音楽愛好会	第1金曜日	崎長 信正

★ 入会ご検討の方は、下記あてメール・電話・はがきにてお問い合わせください ★

**CAM 第64号** (2017年6月)

発行 千葉大学生涯学習友の会 けやき倶楽部 (2017年5月21日現在会員 255名)

ホームページ <http://chibadaikayaki.com/>

メール [chibadai-keyaki@ark.ocn.ne.jp](mailto:chibadai-keyaki@ark.ocn.ne.jp)

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

千葉大学教育企画課気付 ☎ 043-290-2154

編集担当 幹事会広報チーム

